



標準的な予防接種の受け方



ワクチン	標準的な接種時期と回数	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳			4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
														1か月	2か月	3か月～						
インフルエンザ菌b型(ヒ7) (不活化)	初回：生後2か月から生後7か月に至るまでに開始し、27日から56日までの間隔で3回接種します。ただし、初回2回目及び3回目は生後12か月に至るまでに行うこととし、12か月を超えた場合は接種しないこと 追加：初回3回接種終了後、7か月から13か月の間隔で1回接種	①	②	③								④										
小児肺炎球菌 (不活化)	初回：生後2か月から生後7か月に至るまでに開始し、生後12か月までに27日以上の間隔で3回接種します。 追加：初回3回接種終了後、60日以上の間隔をおいて生後12か月から生後15か月に至るまでの間に1回接種します。	①	②	③								④										
四種混合 (不活化)	1期初回：生後3か月から生後12か月に達するまでに20日～56日の間隔で3回接種します。 1期追加：1期初回3回接種終了後、12か月～18か月の間隔をおいて1回接種します。		①	②	③							④										
BCG (生)	生後5か月から生後8か月未満の間に1回します。					①																
麻しん風しん (生)	生後12か月から生後24か月に至るまでの間に1回接種します。 1歳になったら、なるべく早く受けましょう。 *小学校就学前の年長組の時に2回目の接種をします。											①								② 年長		
水痘 (生)	1回目：生後12か月から生後15か月に達するまでの間に1回接種します。 2回目：1回目接種終了後、6か月から12か月の間隔をおいて1回接種します。											①	6か月～12か月の間隔をあける	②								
日本脳炎 (生)	1期初回：3歳から4歳に達するまでに、6日から28日までの間隔をおいて2回接種します。 1期追加：4歳から5歳に達するまでに、初回2回接種終了後、概ね1年経過した時に1回接種します。 2期：9歳から10歳に達するまでに、1回接種します。														①	②		③				④
B型肝炎 (不活化)	生後2か月から生後8か月に達するまでに27日以上の間隔で2回、更に初回接種から140日以上を経過した後に1回を接種します。 *平成28年10月から定期予防接種となり、平成28年4月1日以降に生まれたお子さんが対象となります。	①	②					③														

** ワクチンの接種間隔 **

生ワクチン接種後は、4週間後の同じ曜日からうけられます（27日以上あける）。

例：月曜日に生ワクチンを接種→4週間後の月曜日以降に他の予防接種が接種可能

不活化ワクチン接種後は、翌週の同じ曜日からうけられます（6日以上あける）。

例：月曜日に不活化ワクチンを接種→翌週の月曜日以降に他の予防接種が接種可能

